

路地百選推薦書

推薦者氏名：井上 健一郎

推薦する路地（のまち）の名称		思い出横丁		
所在地		東京都新宿区		
【推薦する理由（路地のよいところ）】 戦後のヤミ市を起源とする飲み屋街や商店街は都心には、そこそこ残っているものの、その多くは一度は整理され、それなりに整形された「ヤミ市横丁」である。そんな中、当時のバラックをそのままに残すのが、吉祥寺「ハモニカ横丁」や新宿「思い出横丁」である。思い出横丁は新宿の飲み屋街だけに知名度は高い。つるかめ食堂の「ソイ井」などは、この横丁の風物詩とも言える名物料理だ。 新宿という土地柄もあり、数年前までスーツを着たサラリーマンで繁盛する横丁だったが、近年では観光目的で、若者や女性の姿もよく見受けられる。「路地」への注目を肌で感じられる光景だ。その反面、質と値段が釣り合わない暴利な焼き鳥屋も。要注意。 健全な店、たとえば宝来家、特に第二宝来家は安価でおいしい焼き鳥を食べられる。横丁の店の模範的存在だ。				
【写真添付】 				
路地 の ま ち の 概 要	面積	約 2000㎡	路地の延長	約 100m
	まちの成り立ち、特色等	戦後ヤミ市がいち早く形成されたのが、この新宿駅前である。尾津組親分、尾津喜之助が新聞に積極的に新聞でヤミ市の広告を掲載した。終戦からほんの数日のことであった。当初、ヤミ市は食料と言うよりは、鍋などの食器が集まる市場として発展した。新宿のヤミ市には鍋などを中心として物が集まった。 新宿駅周辺は尾津組、安田組・・・など4つほどの組によって統率されていた。この思い出横丁は安田組のラッキーストリートというヤミ市商店街が整理されることによって形成された飲み屋街。 2008年に再開発し、ビル建設を進める予定だったが、どうもディベロッパの経営不振により話がなくなりつつあるようだ。まずは一安心。多くの人が行きかう街だけに、思い出横丁は文字通り、多くの人々の思い出の中で愛されいる飲み屋街である。		

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。